

日本毛織(株)印南工場

環境保全対策実施報告書

1. 環境保全対策実施状況（令和2年度）

(1) 大気汚染に係る対策

推進の内容	実施の成果
<p>①ボイラーの日常点検及び4か月毎の定期点検・調整・排ガス分析を継続しております。</p> <p>燃料は都市ガスでありSOxの排出はなく、低NOxバーナーを採用しており燃焼状態は良好です。</p> 	<p>排ガス分析結果から判断して、良好な運転ができております。</p>
<p>★ ②省エネ推進によるCO2削減対策</p> <p>ア. ガス・コージェネレーションシステムの運転管理（ガスエンジン発電機、815kW）</p>  <p>イ. 2020年度に排水処理設備のルーツブロアをターボブロアに更新しているため、電力使用量を抑えることができております。</p> 	<p>令和2年度のエネルギー原単位は前年比98.9%(電気99.2%、ガス106.1%)と、前年度比で削減できておりますが、自社目標98%以下に対して未達です。電気に対して、ガス使用量が悪化してしまったため、CO2排出量は対前年比で102.1%となりました。</p>
<p>③毎月1回、各部門の課長、係長をメンバーとし、省エネ会議を開催しています。省エネ・保全対策や啓蒙活動を推進しました。</p>	<p>各部門と情報交換及びエネルギー使用について教育を行うことで省エネ対策を立案し、計画的に省エネ活動を推進しています。</p>

(2) 水質汚濁に係る対策

推進の内容	実施の成果
<p>① 水処理装置の日常点検、定期点検及び測定機器の定期保全を実施しました。</p> 	<p>排水処理の安定した運転ができました。</p>

(3) 騒音・振動に係る対策

推進の内容	実施の成果
<p>① 環境保全協定で定められた測定点で騒音測定を行いました。</p>	<p>何れの測定点でも協定値を順守できております。</p>

(4) 産業廃棄物に係る対策

推進の内容	実施の成果
<p>① 排水処理装置から発生する汚泥のセメント原料化を継続しています。</p>	<p>廃棄物量は前年比88.4%となり、目標99%以下を達成できております。</p>
<p>② 廃棄物の分別に関する教育を従業員に実施しました。</p>	<p>廃棄物のリサイクル率は99%以上を維持できました。(サーマルリサイクル含む)</p>

(5) 緑化に係る対策

推進の内容	実施の成果
<p>① 樹木・緑地の剪定・除草、害虫駆除および渇水期の散水を継続しております。</p> <p>・加古川市環境保全研究会と協力して藤袴の生育に挑戦しておりますが、株分に成功しました。</p> 	<p>緑地の維持により、レンガ造りの工場と緑による景観を維持しております。</p>

(6) 地域連絡会

推進の内容	実施の成果
<p>① 例年2回、当工場周辺の町内会長様に参加いただき地域連絡会を実施しておりますが本年度は、新型コロナウイルスの影響を加味して実施できておりません。</p>  <p>写真：前年度の地域連絡会</p>	<p>工場の実態を報告できる場を設定できませんでしたので、情勢を見ながら今後の実施を検討しております。</p>
<p>② 工場周辺の清掃活動を6月に実施しました。</p> 	<p>工場周辺の美化にも配慮した工場操業を実施できております。今後も継続していきます。</p>

(7) その他

推進の内容	実施の成果
<p>① 環境マネジメントシステム（ISO14001）の外部審査に合格し、継続運用しています。</p>	<p>環境保全活動を継続実施と従業員の環境への意識向上を図れました。</p>

2. 協定値と実績値の比較

(1) 大気関係

(実績値：最大値または年間総排出量)

項 目		協 定 値	実 績 値
窒素酸化物排出量	(Nm ³ /時)	2.0	0.4
	(t/年)	11.6	2.1

(2) 水質関係

①汚濁負荷量

項 目		協 定 値	実 績 値
化学的酸素要求量 (COD) (kg/日)	通 常	283	28.4
	最 大	373	48.0
生物化学的酸素要求量 (BOD) (kg/日)	通 常	452	7.0
	最 大	596	11.5
浮遊物質 (SS) (kg/日)	通 常	283	8.1
	最 大	373	30.2
ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (kg/日)	通 常	147	3.4
	最 大	194	17.1

②許容限度

項	目	協 定 値	実績値
水素イオン濃度 (pH)	最小～最大	5.8～8.6	6.6～7.5
COD (mg/L)	日間平均	25	8.6
	最 大	35	20.0
BOD (mg/L)	日間平均	40	3.0
	最 大	55	9.2
SS (mg/L)	日間平均	25	2.6
	最 大	50	17.6
ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (mg/L)	日間平均	13	3.1
	最 大	20	11.0
六価クロム (mg/L)	最 大	0.25	<0.02

3. 環境保全活動

(1) 令和3年度基本方針

項目	内容
基本方針	当社は、『人と地球に「やさしく、あったかい」企業グループとして、わたしたちは情熱と誇りをもってチャレンジして行きます』を経営理念としており、環境への配慮と高い企業倫理により社会から信頼される企業グループを指向します。
組織体制	<pre> graph TD A[工場長] --- B[ISO事務局] A --- C[環境管理責任者] A --- D[地球環境工場委員会] D --- E[環境整備専門委員会] C --- F[各部門] C --- G[各部門] C --- H[各部門] C --- I[各部門] C --- J[各部門] </pre>

(2) 令和3年度環境保全活動計画

環境保全活動	目標	目標達成のための計画、方策
自動車公害対策	<ul style="list-style-type: none"> ・低公害車の採用 ・自動車排気ガスの抑制 	<ol style="list-style-type: none"> ① 社有車更新の際に低公害車を選択 ② 従業員、運送業者に対して、アイドリングストップのPR ③ 自動車通勤の距離制限
化学物質対策	<ul style="list-style-type: none"> ・化学物質漏洩の未然防止 ・化学物質使用量の削減 	<ol style="list-style-type: none"> ① 化学物質の保管・在庫管理の適正化 ② PCB含有機器（蛍光灯安定器）の適正保管と処分状況の報告 ③ PRTR法に基づく化学物質の排出量、移動量の把握と報告 ④ 処理設備の維持管理
エネルギー対策（地球温暖化防止対策）	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー原単位をR2年度比2%削減 	<ol style="list-style-type: none"> ① コージェネの運転管理 ② エネルギー見える化による意識改革 ③ 照明LED化 ④ スチームトラップ・保温材の点検整備 ⑤ エア漏れ点検と迅速な修理対応 ⑥ 生産設備の適正運転 ⑦ 省エネ会議・パトロールの実施

廃棄物対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 廃棄物排出量をR1年度比99%以下 ・ リサイクル率99%以上を維持 	<ol style="list-style-type: none"> ① 排水汚泥のセメント原料化を維持 ② 汚泥乾燥による排水汚泥重量を削減 ③ 廃棄物分別の徹底とリサイクルの高位化 ④ 事務作業のペーパーレス化推進 ⑤ 電子マニフェストの推進
不法投棄防止対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 不法投棄の撲滅 	<ol style="list-style-type: none"> ① 工場外周の定期巡回と清掃を実施し、投棄し難い環境を維持
グリーン購入	<ul style="list-style-type: none"> ・ 購入前に考える仕組 	<ol style="list-style-type: none"> ① 注文前にグリーン購入の可否を考える取組を継続
緑化に係る対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 緑地、樹木の維持管理 	<ol style="list-style-type: none"> ① 樹木の剪定、除草、害虫駆除を実施
環境マネジメントシステム	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境マネジメントシステムの継続とISO14001の認証維持 	<ol style="list-style-type: none"> ① 環境マネジメントシステムの外部審査を受け、運用管理を行います。
環境教育	<ul style="list-style-type: none"> ・ 従業員、協力会社への省エネ・廃棄物・その他環境改善教育の実施 	<ol style="list-style-type: none"> ① 教育訓練計画を立案・実行し、進捗管理を行います。
地域社会への参画	<p>地域住民や行政が行う環境保全活動に可能な限り参加する</p>	<ol style="list-style-type: none"> ① 新型コロナウイルスによる情勢を考慮しながら地域連絡会の開催を検討 ② 工場周辺の清掃活動実施
環境コミュニケーション	<p>環境情報の公開に努める</p>	<ol style="list-style-type: none"> ① ニッケグループ環境報告書の中で当工場の環境情報について報告 (詳細版は当社ホームページに掲載)
★ 周辺環境に影響を与えるおそれのある事故等発生時の地元への広報等	<p>工場外に重大な影響を与える場合に限り加古川市・町内会に公表</p>	<ol style="list-style-type: none"> ① 緊急時対応訓練の実施 ② 環境マニュアル・規定書にある緊急時連絡体制の従業員教育適切に実施